

# DCTスキームを用いた認知症研究体制構築の研究

代表機関/代表者 東京都健康長寿医療センター 岩田淳  
研究期間：2024年度～2028年度

## 研究開発目的

アルツハイマー病に対す抗Aβ薬治療が社会実装され、バイオマーカーを用いた診断、新しい治療方法の効果評価といった今までに無い臨床が開始され、全国レベルでの均霑化を目標として、DCTの手法を用いた研究方法の導入が必要不可欠となった。

## 取り組み

同意取得、臨床評価、MRI画像収集、PET画像撮像方法・評価方法、液性バイオマーカー、EDC構築という側面に対してDCTを用いる事を目標として、どのような方法論が最適となるかを研究開始2年程度で確立したい。

## 成果

現状の技術について確認をした。これらの技術は他の課題にも応用可能であり、参加者のリクルート促進に寄与することが期待できる。

## 今後の展開

令和8年度を目途に他の研究班に技術を紹介。

